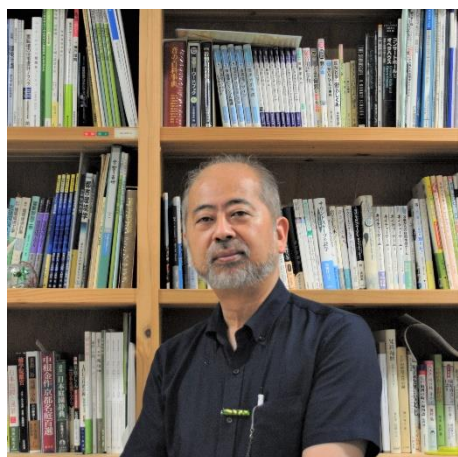


- Cross・×・かける 企画 -

サウンドスケープと環境デザイン

美しい風景は人の心を和ませてくれます。風景は視覚だけではなく、聴覚でもとらえるものです。庭園や茶室などでは聴覚的要素は様々に取り入れられていますが、それらは目に見えないため気づかれにくいものです。ここでは風景の中に秘められたサウンドスケープ・デザインを、事例とともに解説します。人の感性など心的感覚に気づき、それらを組み合わせると考えるデザインの方法が変わるかもしれません。サウンドスケープ・デザインから一緒に考えてみましょう。



金沢工業大学 建築学科 教授
土田 義郎 氏

×

株式会社ユウプラス 代表取締役
一級建築士・歴史的建造物修復士
由田 徹 氏



講師：土田 義郎 氏 (つちだ よしお)

略歴：出身地は横浜。早稲田大学にて建築を学び、東京大学大学院にて建築音響、環境心理を学ぶ。以降、地域の環境保全やまちづくりを視野に、茶室・庭園のサウンドスケープや建築・都市空間の音環境について研究。心理の分析手法に関する研究も行う。風鈴コレクター。風心庵という金沢町家を改装した建物をワークショップの拠点とし、コレクションの展示もしている。日本サウンドスケープ協会、日本建築学会、日本音響学会、日本騒音制御工学会、日本デザイン学会、日本福祉のまちづくり学会、PAC分析学会の各会員。

講師：由田 徹 氏 (よしだ とおる)

略歴：1965年石川県能美市宮竹町生まれ。石川工業高等専門学校、豊橋技術科学大学及び大学院で建築・景観工学を学ぶ。1990年建築家北川原温に師事。1998年石川県に活動の拠点を移す。2006年ユウプラス設立、法人化。

ふるさとでは、片山津温泉に愛染寺護摩堂・寺務所の建築で石川建築賞はじめ建築では多数の受賞がある他、金沢 21 世紀美術館のミュージアムグッズ（時計・USBメモリーなど）のデザインで2005年Gマーク選定、那谷寺サイン計画で日本サインデザイン賞を受賞している。能美市市章のデザインで全国公募の中最優秀賞を受賞し採択されている。広く建築デザインやデザインを手がけてきた。

定員

30 名 参加費：無料

場所

オンライン開催です。お申し込み受付の際に配信 URL 情報をお送り致します。

申込

お名前・連絡先メールアドレスをご記入の上、下記メール宛にお申込みください。

kanazawa-maker@ml.jaist.ac.jp 北陸先端科学技術大学院大学 永井研究室 宛